

北広島町立学校施設長寿命化計画

令和3年2月

北広島町教育委員会

目次

第1章	学校施設長寿命化計画の目的等	P	1
1.	目的	P	1
2.	計画期間	P	1
3.	対象施設	P	3
4.	学校施設の目指すべき姿	P	4
5.	整備・環境の実現について	P	5
第2章	学校施設の実態	P	6
1.	学校施設の築年数 (令和2年度 時点)	P	6
2.	学校ごとの学級数 (令和2年5月1日時点)	P	6
3.	学校ごとの児童・生徒数 (令和2年5月1日時点)	P	7
4.	学校ごとの給食の状況 (令和2年度 時点)	P	7
5.	耐震化の状況	P	8
6.	改修の状況	P	8
7.	老朽化の状況の把握	P	8
第3章	学校施設の長寿命化計画の基本方針	P	12
1.	学校施設長寿命化の基本的な進め方	P	12
2.	改修等の整備水準等	P	12
3.	改修等の優先順位付けと実施計画	P	13
4.	学校改修等 計画 (令和元年度～)	P	13
5.	長寿命化計画の継続的運用方針	P	15

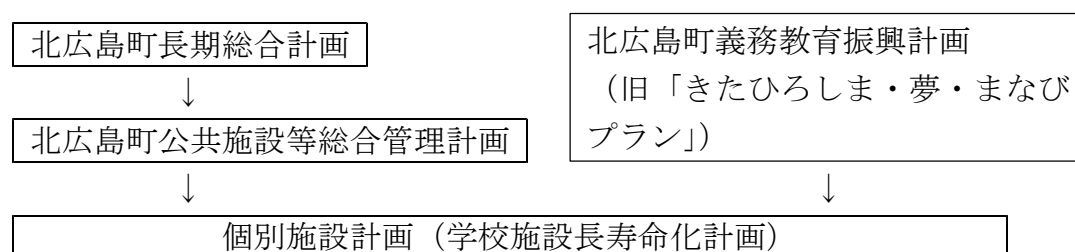
第1章 学校施設長寿命化計画の目的等

1. 目的

北広島町の学校施設は小学校8校、中学校4校及び給食施設3施設を有し、その多くは昭和50年代前半にかけての第2次ベビーブームにより児童生徒が急増した時期に整備されたものである。これまで実施してきた耐震診断の結果を受けて、耐震性のない施設については耐震補強工事を実施したものの、北広島町内の小中学校の5割が築後30年を経過しており、老朽化も進行していることから、今後、建替や大規模改修に多額の費用が必要になると思われる。しかしながら、本町の厳しい財政状況を踏まえると、すべての施設を短期集中的に整備していくことは困難であることから、計画的に施設整備を行っていく必要がある。

こうしたことから、安全性を確保しつつ、持続的な教育環境の維持及び向上を目指し、効率的、効果的に施設整備を進めるために、北広島町立学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）を策定する。策定に当たっては文部科学省の長寿命化計画策定に係る手引きや、バリアフリー化、多目的トイレの設置、ICT環境の整備、環境負荷の軽減及び地域活動拠点機能整備なども踏まえた計画としている。

本計画は、上位計画である北広島町長期総合計画や北広島町公共施設等総合管理計画、さらに北広島町義務教育振興計画との整合を図るとともに、学校施設の中長期的な維持管理コストの縮減や予算の平準化に努め、継続的な施設整備を行うことで、学校施設に求められる教育機能の確保を目的としている。



2. 計画期間

本計画は、北広島町公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）に基づいて、施設類型ごとに策定する個別施設計画のうち、現状の公立学校施設（小学校、中学校、給食施設、その他学校施設（以下「小中学校等」という。））をベースに、10年先を見据え、公立学校施設に係る長寿命化などについての取組を定めた個別施設計画とする。

ただし、この期間内においても児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、計画を見直すものとする。

○本計画期間

令和3年度（2021年）から令和12年度（2030年）の10年間

○北広島町公共施設等総合管理計画

学校施設に関する内容	
第4 施設分類ごとの方針	
1. 公共施設	
(3) 学校教育系施設	
施設分類	方針
学校	教育環境の充実を視点に、「きたひろしま・夢・まなびプラン」に基づき統廃合を図ります。耐震化を完了させた上で、適切に維持管理し、長寿命化を図ります。なお、学校プールについてもスポーツ施設のプール同様、集約を図っていきます。余剰となる施設については、地元協議により利活用を図りますが、活用策を見いだせないものは除却を進めていきます。
その他教育施設	給食施設については、適切に維持管理し、長寿命化を図りますが、児童生徒数の推移や地理的条件、職員数等を勘案し、共同調理場化や業務委託の推進を検討します。なお、学校統廃合に伴い余剰となっている施設については、地元協議により利活用を図りますが、活用策を見いだせないものは除却を進めていきます。

○北広島町義務教育振興計画

学校施設に関する内容	
4. 義務教育の基本的な方向性の具現化に向けた方策	
(2) 学校と行政と地域が一体となって”北広島町の学びの場”を支える	
③行政が学びの場を支える	
<p>【安全な学校施設の整備】</p> <p>学校施設の老朽化や劣化は年々進んでおり、その修繕や改修などの対応の必要性が喫緊の課題となっている。老朽化した施設の更新や劣化した施設への早期対応など、児童生徒さらには施設を利用するすべての人々が安全・快適に過ごせる場所となるよう整備を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設長寿命化計画を策定し、学校施設の計画的な整備を実施していく。 ・劣化の著しい施設については、早期対応を行うことで児童生徒及び施設を利用するすべての人々の安全を確保していく。 	
<p>【学校給食施設の整備】</p> <p>本町の3カ所の給食センター（芸北、大朝、豊平）及び5カ所の給食調理場（千代田地域）のうち、芸北給食センターを除く施設を統合し、新たな給食センターを設置することで安心・安全な食を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの設置に関しては、調理時間や配送距離等の面も考慮しながら適正配置を考える。 ・食の安全、衛生的な面から、老朽化の進んだ給食センター及び給食調理場を統合し、給食センターを設置する。 	

3. 対象施設

北広島町が保有する小中学校、給食調理施設。

(小学校8校、中学校4校、給食調理施設3施設を対象としている。)

小学校	1. 芸北小学校	〒731-2323 広島県山県郡北広島町川小田213-3
	2. 大朝小学校	〒731-2104 広島県山県郡北広島町4676-1
	3. 新庄小学校	〒731-2103 広島県山県郡北広島町新庄3497
	4. 八重小学校	〒731-1535 広島県山県郡北広島町今田2288-1
	5. 八重東小学校	〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田1897-1
	6. 壬生小学校	〒731-1515 広島県山県郡北広島町壬生855
	7. 本地小学校	〒731-1526 広島県山県郡北広島町本地2812-1
	8. 豊平小学校	〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志見10914
中学校	9. 芸北中学校	〒731-2323 広島県山県郡北広島町川小田10075-90
	10. 大朝中学校	〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝4683-1
	11. 千代田中学校	〒731-1532 広島県山県郡北広島町古保利450
	12. 豊平中学校	〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志見450
給食施設	13. 芸北学校給食センター	〒731-2323 広島県山県郡北広島町川小田10075-90
	14. 大朝学校給食共同調理場	〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝4676-1
	15. 豊平学校給食センター	〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志見10914-4

※学校施設は、校舎・体育館とする。

(豊平小学校の体育館は豊平中学校の体育館を共同利用、芸北中学校の体育館は、広島県立加計高等学校芸北分校の体育館を共同利用している。)

※川迫小学校は、令和3年3月末で八重小学校に統合するため、本計画には含めていない。

4. 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、子どもたちの学ぶ意欲と学ぶ習慣を育て、生涯学び続ける力を育むためにふさわしいものとするとともに、十分な防災性・防犯性などの安全性を備えた安心感のあるものとする必要がある。

また、地域の活動を支えるコミュニティの拠点としての役割、非常災害時における避難所としての役割など、様々な機能強化が求められている。

さらに、グローバル化の進展等により、社会全体が急速に変化していく中、情報化社会に対応したICT教育環境の充実など、児童・生徒の学習能力の向上のためのニーズにも対応していく必要がある。

○安全・防災面

- ・誰もが安全・安心に利用できる施設
- ・災害時にも柔軟に対応ができる施設
- ・毎月2日を「安全の日」として、安全点検を実施する。

○学習・生活面

- ・多様な学習への対応やきめ細やかな指導ができる施設
- ・バリアフリー化など誰もが快適に利用できる施設
- ・省エネルギーに配慮した環境負荷の少ない施設
- ・ICT環境に対応した施設

○地域の拠点化

- ・地域に開かれた学校とするための施設

5. 整備・環境の実現について

○確かな学力の育成ときめ細やかな指導を実現する教育環境の整備（学習空間の充実）

学校は、児童生徒が1日の大半の時間を過ごす学習、生活の場であるため、快適な学習環境、生活環境を確保することが大切である。さらに近年の多様な学習内容、学習形態に対応し、時代に即した多機能かつ高機能な教育環境を確保することも必要である。その中で、次の点について考慮していく。

- ・個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるため、担任、学校サポート教員等による少人数授業やチームティーチングなど、多様な学習展開に対応する施設整備を進める。
- ・グローバル社会に対応した教育の推進（英語力、コミュニケーション力等の育成）やICTを活用した授業の推進のための環境を整備する。
- ・児童・生徒1人1人の教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設整備を図る。
- ・職員室をはじめ、教職員の休憩室、更衣室及び打ち合わせスペースなど、職場環境の向上にも配慮する。

○豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現（生活空間の充実）

児童・生徒が安心して、有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全など、安全性に配慮した施設整備を図るとともに、障害の有無に関わらず、安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を目指す。

また、豊かな人間関係づくりや体力向上を推進するための空間づくりを工夫する。

さらに、地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、断熱性能の向上、LED照明や人感センサー付きの照明の導入、校内緑化の推進等、各校の状況を踏まえながら進めていく。

○地域と共に歩む拠点としての施設整備（地域との連携の充実）

家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、学校サポートのボランティアの方などの活動の場として位置付ける。

また、児童の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として、学校を利用することに配慮する。

さらに、地域防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進める。

第2章 学校施設の実態

1. 学校等施設の築年数（令和3年2月 時点）

本町が保有する学校校舎は、小学校8校、中学校4校で、建築年数40年以上の学校は4校、30年以上の学校は8校となる。

	学校名	合併前の町名	建築年	築年数
1	北広島町立 芸北小学校	芸北町	平成 2年	31年
2	北広島町立 大朝小学校	大朝町	昭和56年	40年
3	北広島町立 新庄小学校		昭和60年	36年
4	北広島町立 八重小学校	千代田町	昭和62年	34年
5	北広島町立 八重東小学校		平成 5年	28年
6	北広島町立 壬生小学校		平成26年	7年
7	北広島町立 本地小学校		昭和52年	44年
8	北広島町立 豊平小学校	豊平町	平成25年	8年
9	北広島町立 芸北中学校	芸北町	平成28年	5年
10	北広島町立 大朝中学校	大朝町	昭和53年	43年
11	北広島町立 千代田中学校	千代田町	昭和53年	43年
12	北広島町立 豊平中学校	豊平町	昭和52年	44年
13	芸北学校給食センター	芸北町	平成28年	5年
14	大朝学校給食共同調理場	大朝町	昭和56年	40年
15	豊平学校給食センター	豊平町	平成11年	22年

2. 学校ごとの学級数（令和2年5月1日時点）

本町の学級数は次のとおりである。基本的には1学年1クラスだが、複式学級となっている小学校もある。

	通常学級数							特別支援学級数							合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	知	肢	病	弱	難	自	小計	
芸北小学校	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	6
大朝小学校	1	1	1	1	0.5	0.5	5	0	0	0	0	0	1	0	1
新庄小学校	1	1	1	1	0.5	0.5	5	0	0	0	0	0	0	0	5
川迫小学校	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	4
八重小学校	1	1	1	1	1	1	6	1	0	1	0	0	1	3	9
八重東小学校	1	1	1	1	1	1	6	1	0	0	0	0	1	2	8
壬生小学校	1	1	1	1	1	1	6	1	1	0	0	0	1	3	9
本地小学校	1	1	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0	1	1	7
豊平小学校	1	1	1	1	1	1	6	0	1	1	0	0	1	3	9
小学校 合計	8.5	8.5	8.5	8.5	8	8	50	3	2	2	0	0	6	13	63
芸北中学校	1	1	1				3	1	0	0	0	0	1	2	5
大朝中学校	1	1	1				3	1	0	0	0	0	1	2	5
千代田中学校	3	3	3				9	1	0	0	0	0	1	2	11
豊平中学校	1	1	1				3	1	0	0	0	0	0	1	4
中学校 合計	6	6	6				18	4	0	0	0	0	3	7	25

3. 学校ごとの児童・生徒数（令和2年5月1日時点）

本町の児童・生徒数は次のとおりである。

	通常学級							特別支援学級							合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	
芸北小学校	9	12	8	9	12	11	61	0	0	0	0	0	0	0	61
大朝小学校	5	10	12	10	2	14	53	3	0	1	0	0	0	4	57
新庄小学校	4	5	11	13	7	8	48	0	0	0	0	0	0	0	48
川迫小学校	1	1	4	3	3	6	18	0	0	0	0	0	0	0	18
八重小学校	26	30	31	25	25	23	160	0	0	1	3	1	0	5	165
八重東小学校	19	16	16	22	22	27	122	2	1	1	1	2	0	7	129
壬生小学校	14	21	17	21	24	26	123	0	3	2	4	3	0	12	135
本地小学校	10	10	12	11	12	12	67	0	0	0	0	1	0	1	68
豊平小学校	21	19	17	22	15	28	122	0	0	1	2	2	2	7	129
小学校 合計	109	124	128	136	122	155	774	5	4	6	10	9	2	36	810
芸北中学校	14	8	10				32	2	0	0				2	34
大朝中学校	13	16	16				45	2	1	3				6	51
千代田中学校	82	82	94				258	4	1	4				9	267
豊平中学校	15	11	17				43	0	2	0				2	45
中学校 合計	124	117	137				378	8	4	7				19	397

4. 学校ごとの給食の状況（令和2年度 時点）

千代田地域の小学校については、自校の調理場で給食の調理があり、それ以外については、次のとおり、共同調理場で調理をしている。

学校名	単独調理場	共同調理場	調理場名
北広島町立 芸北小学校		○	芸北学校給食センター
北広島町立 大朝小学校		○	大朝学校給食共同調理場
北広島町立 新庄小学校		○	大朝学校給食共同調理場
北広島町立 八重小学校	○		
北広島町立 八重東小学校	○		
北広島町立 壬生小学校	○		
北広島町立 本地小学校	○		
北広島町立 豊平小学校		○	豊平学校給食センター
北広島町立 芸北中学校		○	芸北学校給食センター
北広島町立 大朝中学校		○	大朝共同調理場
北広島町立 千代田中学校		○	豊平学校給食センター
北広島町立 豊平中学校		○	豊平学校給食センター

調理場についても、できるだけ集約化していく。

5. 耐震化の状況

本町では、児童生徒の安全・安心を守るための最優先課題として、耐震性を有していない建物などの耐震化を計画的に進め、耐震補強工事を実施するなどして、すべての学校施設の耐震化を完了した。

6. 改修の状況

近年、学校施設の整備においては、耐震補強工事、校舎・体育館の新築・解体、エアコン整備を優先的に取り組んできたため、施設全体の大規模な改修は進んでおらず、構造躯体に影響を及ぼす屋上や外壁などの改修、電気・機械設備などの不具合補修などは、緊急性を考慮した部分的な改修にとどまっている。そのため、今後は、老朽化していく施設全体への対応が課題となってくる。

校舎内部・外部の大規模改修工事が必要な校舎もあり、外壁の剥落や雨漏り、給排水整備、電気設備の劣化など、学校施設及び設備の老朽化が進行し、安全面や機能面に不具合が生じている。

今後、これらの建物の大規模改修や建て替えなどの投資的経費の増大が避けられない状況となっている。

○老朽化に伴う主な損傷箇所

- ・外壁の劣化に伴う塗装の剥がれ、コンクリート片の剥落
- ・給排水管等の劣化・破損等に伴う水漏れの発生
- ・教室、体育館等の劣化に伴う雨漏りの発生
- ・防災設備（火災報知器等）の不具合の発生
- ・電気設備の不具合の発生
- ・放送設備の不具合の発生

7. 老朽化の状況の把握

構造躯体の健全性については、既存の耐震に関する確認資料や現地調査（目視検査等）の結果から評価した。

現地調査の結果から、老朽化により補修が必要な箇所（雨漏り対策、外壁の劣化など）があったが、構造的に大きな問題のある建物はなかったと思われる。

現地調査の結果から、全ての施設において長寿命化可能の建物と判断した。

○構造躯体以外の劣化状況評価

すべての対象施設について、次のとおり、建物の老朽化状況の調査を行った。

- ・「屋根・屋上」、「外壁」については、目視状況等での確認
- ・「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」については、建築年数・改修年数などにより、A、B、C、Dの4段階で評価を行い、今後のライフサイクルコスト試算や改修優先度の整理のための基礎資料とした。

ア. 「屋上・屋根」、「外壁」の目視による建物劣化度の評価

部位	判定項目	捉え方	評価基準など
屋根 ・ 屋上	劣化損傷 などの 状況	劣化損傷などの度合いとその範囲の広がり、屋上防水工事履歴など	A：概ね良好 B：部分的に劣化 （安全上、機能上、問題なし） C：広範囲に劣化 （安全上、機能上、低下の兆し） D：早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （耐久性に影響を及ぼしている） （設備が故障し、施設運営に支障をきたしている） の4段階で評価
外壁		ひび割れ剥離などの度合いとその範囲の広がり、大規模改修工事履歴など	

イ. 「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」の経過年数による設備劣化度の評価

経過年数	評価基準
20年未満	A
20年以上～40年未満	B
40年以上	C
経過年数に関わらず、著しい劣化状況がある場合	D

ウ. その他（次の内容についても、随時点検をする。）

部位	判定項目	捉え方
外壁	外部窓・建具	窓の状況 劣化損傷などの状況、窓の使用（アルミ製、スチール製） など
内部仕上	内部全体	劣化損傷などの状況 劣化損傷などの状況、建築後経過年数、大規模改修工事履歴 など
	内部窓・建具	窓・パーテーションの状況 劣化損傷などの状況、パーテーションの仕様（アルミ製、旧式スチール製、木製） など
給排水管	給排水管	劣化損傷などの状況 劣化損傷などの度合いとその範囲の広がり、給排水管工事履歴 など

○部位ごとの劣化について

ア. 校舎

- ・外部については、屋根・屋上のアスファルト保護防水の劣化や、塗膜防水・シート防水の広範囲の劣化が見られる。
- ・老朽化やメンテナンス不足による外壁や雨樋などの付属物の劣化が見られる。(雨樋については定期的な掃除などのメンテナンスが必要)
- ・内部については、外部と比べると直ちに改修が必要な状態ではないと思われるが、ガラス戸など、安全面を考慮しなければならないところもある。
- ・また、設備については、貯水槽、配管、配線、照明器具など各設備の全面的な更新が必要である。

イ. 屋内運動場

- ・外部・内部に劣化が見られる施設もあり、雨漏りの対策などについても対応が必要である。
- ・老朽化による外壁や雨樋などの外部の付属物の劣化が見られる。(雨樋については定期的な掃除などのメンテナンスが必要)
- ・施設内部の照明や付属物等の経年劣化、老朽化による不具合が見られる。

ウ. 給食施設

- ・外部・内部とも老朽化による施設の劣化が見られる。
- ・調理等に使用する多くの備品等も計画的な更新がされていないことから、老朽化が進んでいる状況である。

○構造躯体以外の老朽化状況のまとめ

- ・校舎では、建築後、30年以上で屋根・屋上、外壁の劣化が進行している棟が多く、改修が必要である。
- ・長寿命化の際には、内部の学習環境・生活環境の変化に対応するため、古い仕様・設備の更新が必要となる。
- ・改修後の使用年数によっては、大規模な改修に利点が無いことがあるため、建替との整備費用の比較により、今後の方向性を判断する必要がある。
- ・屋内運動場なども経年劣化への対応、古い設備の更新が必要となる。

○建物情報一覧表（令和3年2月 時点）

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価						その他	
施設名	建物名	建物用途	構造	階数	延床面積	建築年		築年数	耐震躯体の健全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度
						西暦	和暦		基準	診断	補強							
芸北小学校	校舎	校舎	RC	2	1,416	1990	H2	31	新	—	—	B	B	B	A	A	B	H24 大規模改修工事
	体育館	体育館	RC	1	892	1990	H2	31	新	—	—	B	C	C	A	A	B	
大朝小学校	校舎	校舎	RC	3	1,872	1981	S56	40	旧	済H8	—	B	B	B	A	A	B	H8 耐震診断済
	体育館	体育館	S	1	411	1965	S40	46	旧	済H17	—	B	B	B	A	A	B	解体予定 H17 耐震診断済
新庄小学校	校舎	校舎	RC	2	2,101	1985	S60	36	新	—	—	B	A	A	A	A	B	
	体育館	体育館	RC	1	720	1993	H5	28	新	—	—	B	A	A	A	A	A	
八重小学校	校舎	校舎	RC	2	1,947	1987	S62	34	新	—	—	C	B	B	B	B	C	
	体育館	体育館	RC	1	800	1987	S62	34	新	—	—	C	A	B	A	C	B	
八重東小学校	校舎	校舎	RC	2	2,165	1993	H5	28	新	—	—	工事中	工事中	B	B	B	B	
	体育館	体育館	RC	2	879	1999	H11	22	新	—	—	B	C	A	A	A	B	
壬生小学校	校舎	校舎	W	2	2,482	2013	H26	7	新	—	—	A	A	A	A	A	A	
	体育館	体育館	RC	2	800	1990	H2	31	新	—	—	B	A	A	A	A	A	
本地小学校	校舎	校舎	RC	2	1,418	1977	S52	44	旧	済H16	済H18	B	A	A	A	A	A	H18 大規模改修(老朽・地震補強)
	体育館	体育館	RC	1	699	1989	H1	32	新	—	—	A	A	A	B	A	A	
豊平小学校	校舎	校舎	W	2	2,938	2013	H25	8	新	—	—	A	A	A	A	A	A	落ち葉等による種のみ
芸北中学校	校舎	校舎	RC	2	2,658	2016	H28	5	新	—	—	A	A	A	A	A	A	
大朝中学校	校舎	校舎	RC	3	1,999	1978	S53	43	旧	済H13	済H14	B	B	B	A	A	B	H14 大規模改修(老朽・障害・地震補強)
	体育館	体育館	RC	1	720	1994	H6	27	新	—	—	A	A	A	B	A	A	
千代田中学校	校舎	校舎①	RC	2	1,461	1979	S54	43	旧	済H22	済H23	B	B	B	A	A	B	H23 大規模改修
	校舎	校舎②	RC	2	924	1979	S54	43	旧	済H22	済H23	B	B	B	A	A	B	H23 大規模改修
	校舎	校舎③	RC	3	1,205	1979	S54	43	旧	済H22	済H23	B	B	B	A	A	B	H23 大規模改修
	体育館	体育館	RC	1	1,149	1979	S54	43	旧	済H26	済H29	A	A	A	A	A	A	H29 大規模改修
豊平中学校	校舎	校舎	RC	3	2,024	1977	S52	44	旧	済H19	済H21	C	C	B	A	A	B	H21 地震補強
	体育館	体育館	S	1	1,138	2016	H28	5	新	—	—	A	A	A	A	A	A	落ち葉等による種のみ
芸北学校給食センター	給食調理施設	給食調理	RC	1	240	2015	H28	5	新	—	—	A	A	A	A	A	A	
大朝学校給食給食調理場	給食調理施設	給食調理	RC	1	204	1981	S56	40	旧	—	—	C	C	B	A	A	B	
豊平学校給食センター	給食調理施設	給食調理	RC	1	495	1999	H11	22	新	—	—	B	B	B	A	A	B	

【構造】 RC…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨その他、W…木造

【耐震基準】 新…新耐震基準、旧…旧耐震基準


【劣化状況】 A…概ね良好、B…部分的に劣化、C…広範囲に劣化、D…早急に対応する必要がある

第3章 学校施設の長寿命化計画の基本方針

長寿命化計画は、前述した学校施設を取り巻く現状と課題、学校施設整備方針に基づいて、各学校の整備方式、内容及びスケジュールを決定し、整備費用のバランスをとり、財政目標ラインを設定したうえで、整備計画を立てるものとする。

1. 学校施設長寿命化の基本的な進め方

公共施設等総合管理計画の長寿命化実施方針	今後も維持する必要がある建物は、定期点検などの結果をもとに必要な補修・修繕を実施し、改修は計画的に実施することにより、長寿命化を図り、将来の更新・維持管理コストの削減、年度間の支出額の平準化を行う。
公共施設等総合管理計画の施設類型別方針【学校】	定期点検などによる適切な維持管理を行うとともに、予防保全を行い、長寿命化を図る。



学校施設の長寿命化計画の基本方針	学校施設の予防保全を効果的に実施し、長寿命化を図るため大規模改修を計画的に進める。 実施に際しては、学校施設適正配置の検討結果に基づき、使用継続が必要な建物について、優先順を定める。
------------------	--

2. 改修等の整備水準等

本町の学校施設では、校舎の外壁や屋上などの経年劣化や給排水管等の設備不具合への対応が課題となっており、これまでも各学校の状況に応じて、事後保全的に屋上防水改修、外壁改修等を実施し、耐久性の向上を図るとともに、施設水準の維持・向上に取り組んできた。

学校施設を目標使用年数までの期間、常に安全で良な状態で維持するためには、施設の故障や不具合を未然に防ぐ、「予防保全」が重要となってくる。

予防保全を行うことで、突発的な事故や費用負担を減少させることができ、安定した施設運営を図ることができる。

このような予防保全を大規模改修の際に実施するなど、より効果的な長寿命化対策を視野に入れて検討する。

また、給食施設については、芸北給食センター以外の施設（2給食センター、4給食調理場）を統合し、新たな給食センターを設置することで安心・安全な食を提供する。

3. 改修等の優先順位付けと実施計画

経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復を図るため、建築後30年～40年程度を経過した時点での長寿命化改修として、

- ・屋上防水改修
- ・外壁改修
- ・内部改修（床・外壁・天井）
- ・設備改修（給排水管など）

などの実施を検討していくが、施設・設備の耐用年数や、損耗・機能低下の状況に応じて、随時、屋上防水改修及び外壁改修など、劣化の著しい部位の修繕などを優先して実施していく。

また、建物の長寿命化を図るための整備に併せ、教育環境の質的向上や防災機能の強化（災害時の避難所機能の向上のためのバリアフリー化やトイレの洋式化など）を図るための整備を効率的に進めることも検討していく。

財源については、国の補助金や起債などを適切かつ効率的に活用し、財政負担の軽減に努めていく。

4. 学校改修等計画（令和元年度～）

学校施設の改修については次の表のように計画をしているが、財政サイドとも協議を行いながら、優先順位を考慮して、事業を進めていく必要がある。

緊急的な箇所については早急に対応ができるようにするとともに、設備や施設のメンテナンスについては、施設の延命を図る観点からも定期的に行う必要がある。

○学校改修計画（案）【令和元年度～令和12年度】

年度	事業名	理由	金額 (千円)	備考	
1	R1	小中学校エアコン設置工事	普通教室等にエアコンが整備されていないため	336,377	工事業者 富士古河E&C 株式会社 中四国支店
2	R2	北広島町小中学校GIGAスクールLAN・端末整備・保守事業	校内LANの整備、電源キャビネット整備、1人1台の端末整備のため	269,568	整備業者 NECフィールディング 株式会社 広島支店
3	R2	八重東小学校 屋根・外壁・トイレ 設計	校舎の雨漏り、レンガタイルの補修、トイレ(和式⇒洋式)の工事の改修のため	2,090	設計業者 AK建築設計事務所
4	R2	八重東小学校 点検用階段設置、体育館雨漏り対策 設計	体育館の雨漏り、キューピクルへの点検用階段の工事の設計のため	1,342	設計業者 AK建築設計事務所
5	R2	八重東小学校 屋根・外壁 改修工事	校舎の雨漏り対策、レンガタイルの補修などの対応のため	65,670	工事業者 石見工業 株式会社
6	R2	八重東小学校 屋根・外壁 改修工事 監理業務	工事の監理	2,910	監理業者 AK建築設計事務所
7	R2	八重東小学校 点検用階段設置、体育館雨漏り 対策工事	体育館の雨漏り対策、キューピクルへの階段の設置のため		
8	R2	豊平中学校 1階 女子トイレ 改修工事	1階 女子トイレに車いす用トイレを設置する		
9	R3	豊平中学校 スロープ 設置工事 設計	豊平中学校～体育館にスロープの設置をする必要がある。(屋根等も検討)		
10	R3	豊平中学校 スロープ 設置工事	豊平中学校～体育館にスロープの設置をする必要がある。(屋根等も検討)		
11	R3	八重東小学校 トイレ改修工事	トイレを和式から洋式にする。乾式にする。	30,000	
12	R3	八重小学校 校舎 改修工事 設計	屋根・外壁の防水対策、雨どいの機能強化など	7,165	
13	R3	八重小学校 体育館 改修工事 設計	雨漏り対策のため	2,445	
14	R4	八重小学校 校舎 改修工事	屋根・外壁の防水対策、雨どいの機能強化など	119,421	
15	R4	八重小学校 体育館 改修工事	雨漏り対策のため	38,296	
16	R4	芸北小学校 体育館 外壁塗装等 設計	外壁に亀裂などもあり、雨水も浸透している箇所があったため、対策工事を行うため。	1,474	
17	R4	芸北小学校 体育館 外壁塗装工事	外壁に亀裂などもあり、雨水も浸透している箇所があったため、対策工事を行うため。	12,000	
18	R4	大朝小学校 体育館 解体工事	老朽化しているため	22,198	
19	R4	壬生小学校 外壁 塗装工事	外壁塗装も剥げてきており、長く施設を利用するため、塗装等を実施する	25,000	
20	R4	北広島町給食センター新築工事設計	センターを統一するため	30,500	
21	R5	北広島町給食センター新築工事	センターを統一するため	433,083	
22	R5	雲月小学校 解体工事 設計	閉校した小学校の解体工事の設計	8,671	
23	R5	本地小学校 体育館 改修工事設計	体育館照明の対応、屋根等の防水対策等	2,135	
24	R6	雲月小学校 解体工事	閉校した小学校の解体工事	61,280	
25	R6	本地小学校 体育館 改修工事	体育館照明の対応、屋根等の防水対策等	33,461	
26	R6	豊平小学校 外壁塗装工事	外壁塗装も剥げてくる時期なので、長く施設を利用するため、塗装等を実施する。	23,800	雨どいの清掃は随時行う。
27	R7	大朝小学校 校舎 改修工事 設計	屋根・外壁などの防水対策等	5,854	
28	R7	新庄小学校 校舎 改修工事 設計	屋根・外壁などの防水対策等	6,508	
29	R7	大朝中学校 校舎 改修工事 設計	屋根・外壁などの防水対策等	6,743	
30	R8	大朝小学校 校舎 改修工事	屋根・外壁などの防水対策等	91,719	
31	R8	新庄小学校 校舎 改修工事	屋根・外壁などの防水対策等	101,963	
32	R8	大朝中学校 校舎 改修工事	屋根・外壁などの防水対策等	105,649	
33	R9	豊平中学校 校舎 改修工事	屋根・外壁などの防水対策、トイレ改修等	7,547	
34	R10	豊平中学校 校舎 改修工事	屋根・外壁などの防水対策、トイレ改修等	118,239	
35	R11	壬生小学校 体育館 改修工事 設計	屋根・外壁などの防水対策、トイレ改修等	2,444	
36	R12	壬生小学校 体育館 改修工事	屋根・外壁などの防水対策、トイレ改修等	38,296	

5. 長寿命化計画の継続的運用方針

ア. 情報基盤の整備と活用

施設の状態や過去の改修履歴、不具合状況等、学校施設の基本情報を管理する公立学校施設台帳とあわせて保管・蓄積する。

イ. 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会学校教育課を中心に、本計画を含む学校施設のマネジメントを行っていくが、必要に応じて全庁的な体制で対応を図るため、常に他部署との連携をとる。

また、日常の施設管理の質を向上するため、巡回点検や各種報告書を活用して、不具合箇所の早期把握及び早期対応を図っていく。

ウ. フォローアップ

本事業は、「北広島町公共施設等総合管理計画」及び町全体の財政計画の中で、年次及び個別の事業を精査していくとともに、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、社会の状況（少子化等）や本町の財政状況を踏まえたうえで、必要に応じて見直しをする。